

平成29年度 学校評価結果公表シート

作成 みどり幼稚園

1. 本園の教育目標

一人ひとりの子どもを大切に、子どもが主体的に自立していくために発達心理学にあった遊具・道具を指示し、主体的にあそべるような日課を子どもの遊ぶ時間に保障し、先生はあそびを具体的に助け、子どもが安定するように、また信頼関係を深めるために、わらべうたを伝え、日本人であることの民族性を伝えていくことを大切にしています。子どもも大人も居心地の良い美的な環境を用意することを大切にしています。

「強く・明るく・仲良く」
 強く 心身ともに元気でたくましい子 ねばり強い子 よしあしを自分で考える子
 明るく 素直に話しをする子 挨拶のできる子 考え工夫する子
 仲良く 友達と仲良く遊べる子 約束を守れる子 人のいたみのわかる子

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

保育の充実を測りつつ、園の教育目標、保育の内容を再確認しながら次年度新制度に移行を予定しているので施設型給付への理解と必要書類作成を行なう。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
・食育計画 食に関心を持ち、作物への関心、成長を見ていく環境をつくる。	・学年ごとに野菜や果物を栽培する。 ・裏庭には年中・年長が引き続き野菜を植え作物の成長を見ながら収穫を楽しみに待ち年長は収穫した野菜を使い料理を作る。
・幼稚園マニュアルの内容を職員間で深めていく。	・幼稚園マニュアルの内容を確認し、訂正と追加の作業を行い、共通理解を図った。ポリシーブックの見直しを図った。
・保護者とのコミュニケーションを図る。	・クラス通信や園通信・ホームページの中で、子どもの園での様子をお知らせすることにより、安心感を持つ保護者の姿が見られる。 ・プロジェクト通信を通じて内容と子どもたちの様子を保護者に知らせた。
・子ども一人ひとりの個性の把握と個性に応じた適切な指導・援助の充実 ・わらべうたの充実	・幼稚園内での子どもたちの様子やバスの車内での様子を共有し、全教職員共通の関わりができるようにした。 ・今年もわらべうた研修(園内研修)を行ない、クラスごとに指導して頂いた。
・教育の質の向上のために、園内研修を充実させる。	・初任者研修、リーダー研修、わらべうた指導者研修、等に参加した。
・保護者とのコミュニケーションをはかり、本園の保育を保護者に伝える。	・引き続き保護者との懇談の機会を多く持つように心がけ、意見や質問等に対して園の考えを説明した。 ・サポーターズクラブの充実と運営。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今後取り組むべき課題について、全教職員が共通理解し、それぞれ自己評価し、取組状況を話し合うことを通して、本園としての方針を明確にすることができた。
 昨年度より取り入れたシフト制の課題や連携施設(さらな保育園)との連携を更に深めていくことが重要。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
特別支援教育	関係機関を利用する子どもが増え、一人ひとり時間をとり、個別対応の充実と今後の連携ができるようにすすめていきたい。
園に対する保護者の満足度の把握	引き続き、保護者との懇談機会を多くし、行事等についてのアンケートを実施するなど、保護者が期待する幼稚園像を把握し、対応したい。
保護者に対する情報の提供	幼児の幼稚園での普段の様子を保護者にもっと分かってもらう為、ホームページ掲示板等をさらに活用したい。 サポーターズクラブの更なる充実。

6. 学校関係者の評価

委員からは良好な運営をされ、また学校評価にも積極的に取り組まれているとの意見を頂いた。
 合わせて、今後も引き続き積極的に取り組むことを望むとの意見を頂いた。